

## 8月就远表



2023年度8月予定献立表 ひまわり第2保育園 \*献立は変更する場合があります。

			,			
月	火	水	木	金	土	
	ごはん	ごはん	とうもろこしご飯	ごはん	そぼろごはん	
otr@ide	魚の磯辺焼き	厚揚げステーキ	魚の塩焼き	手羽元の照り焼き	味噌汁	
W	そうめん瓜の中華酢の物	きゅうりスティック	モロヘイヤとなすの浸し	あらめの炒め物		
	味噌汁	さくさくなす	  豆乳味噌汁	すまし汁		
		冬瓜スープ				
M of	1	2	3	4	5	
	コーン蒸しパン・あじうり・お茶	おやつそうめん・お茶 うどん(りす、うさぎ組)	きな粉団子 ゴーヤのおかか和え・お茶	かぼちゃもち・するめ・お茶	マカロニきな粉・昆布・お茶	
鮭と青しそのちらし寿司	ごはん	ごはん	ごはん	山の日	お弁当の日	
なすの煮物	高野の干し大根の煮物	マーボーなす	魚の竜田焼き	0-0	~	
味噌汁	かぼちゃのグリル焼き	切り干し中華サラダ	納豆和え	THE COUNTY OF TH	Carp.	
	春雨スープ	味噌汁	すまし汁		2	
7	8	9		11	12	
さくべい・いりこ・お茶	枝豆おにぎり・するめ・お茶	もっちり黒ゴマ・いりこ・お茶	スイートパンプキン 昆布・お茶	~ =====================================	くずもち・するめ・お茶	
<お盆特別保育> お弁当の日			小豆ごはん	ごはん	わかめうどん	
登園される方は、お弁当・水筒を持って			がんもとかぼちゃの煮物	魚の梅にんにく焼き	かぼちゃのそぼろ煮	
きてください。			刻み昆布のサラダ	長ささげのおかか和え		
中までしっかり火を通し、冷めた物をつめてくださいね。			味噌汁	トイト		
保冷剤も忘れずに入れてください。			すまし汁			
14	15	16	17	18 かぼちゃ入り黒ゴママフィン	19	
パン・するめ・お茶	パン・昆布・お茶	あらめおにぎり・昆布・お茶	梅団子・するめ・お茶	いりこ・お茶	レーズンパン・するめ・お茶	
ごはん	ごはん	ごはん	ごはん	夏野菜カレー	チキンライス	
がんもの中華煮	ピーマンの肉詰め	厚揚げの南蛮漬け	大豆と	きゅうりと	味噌汁	
おくらのごま和え	納豆サラダ	なすと	じゃが芋の甘辛煮	トマトのじゃこサラダ		
味噌汁	味噌汁	ピーマンのみそ炒め	そうめん瓜のごまマヨあえ			
		じゃこスープ	味噌汁			
21		23	24		26	
のりおにぎり・昆布・お茶	かぼちゃ入り豆乳くず餅 結び昆布・お茶	ジャムサンドパン・するめ・お茶	かっぱ巻き・切干ハリハリ・お茶	高野のラスク・野菜・お茶 (りす : おにぎり・高野のラスク・お茶)	食パンかりんとう・昆布・お茶	
ごはん	ごはん	ごはん	ごはん			
高野の煮物	魚の塩こうじ焼き	豚肉と春雨の炒め物	魚のフライ	~早寝・早起き習慣で腸リズムを		
きゅうりとしその酢の物	モロヘイヤの	焼きピーマン	夏野菜のサラダ	整えましょう~		
味噌汁	梅おかか和え	小松菜の塩スープ	味噌汁	   ドトの身体には す	明~昼~夜と身体の機能	
1	I ± ∨ → →	Ī.	i .			

## うんちは身体と心からのメッセージ

マカロニきな粉

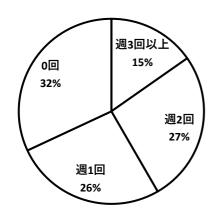
かぼちゃスープ

梅雨が明け、猛暑日が続いています。暑いから、冷えた飲み物をよく飲む、食欲が落ちる、食べやすい物を好み、偏った食事になる…などの生活が続くと腸が冷え便秘やお腹を壊すなどの影響も出てきます。 夏の暑い時期だけでなく、日ごろのお腹の具合はどうでしょう。毎日記入してもらっている連絡ノート等の排便の有無を調査し、園児の排便状況が見えてきました。

冷やしみたらし団子・いりこ・お茶

## 朝の排便の頻度(週)

かぼちゃ大福・昆布・お茶



・週3回以上排便がある子の生活は、寝る時間、起きる時間が毎日同じであり、リズムが安定している。

カレーピラフ・昆布・お茶

- ・1 週間を通して、朝に排便をしてから登園する子の割合が低い。
- ・1 週間を通して、排便をせずに登園する子が 多い。該当児は、昼食後に園で排便をすること が日課になっている。
- ・月曜日に排便をしている子が少なく、月曜の 朝は特に便が出にくいことが分かった。
- ・便秘で悩んでおられる家庭もある。

とトの身体には、朝~昼~夜と身体の機能がスムーズに動くための『体内時計』があります。それが狂うと排便する力が衰え、免疫力も低下します。1日の『腸リズム』は、朝起きたばかりの頃が一番強く、この腸リズムのピーク時に排便を促すことがポイント。毎日同じ時間に排便をする習慣をつけましょう。



ヒトの身体は、食べた物で出来ています。しっかり食べた分、腸で栄養分を吸収し、余った老廃物は排出することが大切です。大きくなってくると、どんな状態のうんちなのか、把握もしにくいかもしれません。

うんちは健康のバロメーターだと思って お子さんの便の様子や状態も気にかけ てみてあげてくださいね。

